

臨床研究のお知らせ

| | | |
|--|---|--|
| ① 試料・情報の利用 目的及び利用方 法 | 研究課題名 | 胃食道逆流症もしくは食道裂孔ヘルニア合併胃癌に対する幽門側胃切除後の再建方法 |
| | 実施予定期間 | 倫理審査承認後～2023年3月30日 |
| | 研究の概要 | 胃食道逆流症（GERD）もしくは食道裂孔ヘルニアを伴う症例の幽門側胃切除後の再建術式に一定の見解はありません。Billroth I（B1）法はRoux-en-Y（RY）法に比較し逆流性食道炎のリスクが高いとされますが、開大した食道裂孔を縫縮することで逆流を予防し、残胃のサイズにより再建術式を選択できる可能性があります。当科で幽門側胃切除術および食道裂孔縫縮を施行した症例の治療成績について検討しました。 |
| | 対象となる方 | 当院消化器外科に2014年から2021年までに胃癌に対して幽門側胃切除術を施行した355名のうち、食道裂孔縫縮を追加した36名を対象にします。 |
| ② 利用、又は提供する試料・情報 | 年齢、性別、術式、既往歴、検査データ(病理、生化学、血液)、生存期間、内服薬、術後合併症の有無 術後経過などの既存の診療情報を利用します。結果の公表の際は、個人が特定されないよう個人情報保護します。 | |
| ③ 利用する者の範囲 | 当院消化器外科の研究参加医師のみが情報を取り扱います。 | |
| ④ 試料・情報の管理責任を有する者 | 研究責任者： 消化器外科 主任部長 中原英樹 | |
| ⑤ 試料・情報の提供停止について | 本研究の対象患者に該当する可能性のある患者さんで、ご自身の情報等が研究に利用されることを拒否される場合は下記の窓口にお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療などに不利益が生ずることはありません。 (ただし、お申し出をされた時点で、データ分析等を終えている場合は、データを利用させていただくことがありますのでご了承ください。) | |
| ⑥ ⑤の受付 | ⑤について、ご希望の方（代理人可）は下記の相談窓口にご連絡ください。 | |
| | 相談窓口 | 県立広島病院 消化器外科 部長 三隅俊博 TEL：082-254-1818（平日8：30～17：15） |
| 研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できますので、問い合わせ先にご連絡ください。 | | |